

取扱説明書

DAYTONA®

R96876①/⑤

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ユニバーサル集合スイッチ2 左側	適応車種	商品NO.
	汎用 配線加工必要	96876

■ご使用前に必ずご確認ください■

- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行ってまいります。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

-  **警告** 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
-  **注意** 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 感電注意	表記の注意を告げるものです。	 分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。

警告

-  **実施**
 - 走行前に、ハーネスの取り回し、ユニバーサル集合スイッチ（右側）の固定に異常が無いことを必ず確認してください。確認を怠ると重大な事故につながる場合があります。
-  **その他**
 - 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。異常がある場合、お取り付けの販売店にご相談ください。

注意

実施

- 取り付けに入る前に必ず安全を確保した上で作業を行なってください。
- この商品は必ずスイッチ操作の行いやすい位置へ取り付けてください。また取り付け後の最初の走行前には実際にスイッチ操作を行ない、新しい操作方法を確認してください。
- 取付けを行う際、必ずパーツリストを用意して部品の名前等確認しながら作業を行なってください。



法令違反

- 平成10年4月1日以降に製作の車両は、保安基準でヘッドライトの常時点灯が義務付けられています。



その他

- 取り付け後各部スイッチの操作を行ない、不具合が生じる場合は再度ハーネスの取り付けを確認してください。
- この商品にはブレーキスイッチの配線は含まれません。ブレーキスイッチの配線は、純正ハーネスを再使用するか、別途接続してください。
- この商品は取り付けの際、配線加工が必要です。
配線の知識を持った信頼のおける専門店にて取り付けてください。
弊社では配線に関するお問い合わせは対応しかねる場合があります。
- この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中で紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。



分解禁止

- スイッチケース付属の取り付けネジ以外の部品は分解しないでください。重要部品の脱落や接点不良を起こす原因となる場合があります。

本商品の特徴

- クラッチレバー交換時に使用する集合スイッチ。
- プッシュキャンセル方式のウインカースイッチ付属。

商品内容

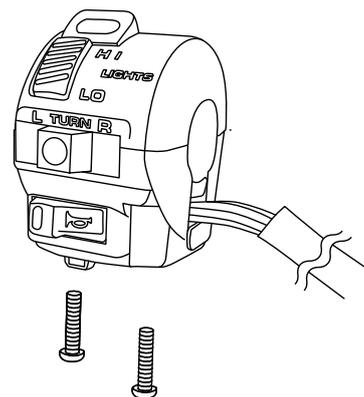
NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	集合スイッチ本体		1	④	ギボシ端子オス用スリーブ		8
②	ギボシ端子オス	CA104 型	8	⑤	ギボシ端子メス用スリーブ		8
③	ギボシ端子メス	CB104 型	8	⑥	結束バンド	150	2

取付方法

注意. 商品の構成部品はギボシ接続用に構成されています。
純正ハーネスを加工するため、純正の状態に戻す場合には再度配線加工が必要になります。
純正と同じカプラーで接続される場合は純正同等のカプラーと端子を用意する必要があります。

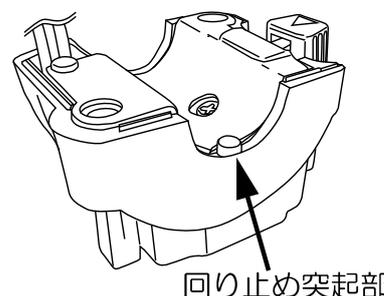
- 純正の集合スイッチ（左側）からハーネスをたどり、車両側と接続しているカプラーを探します。
- サービスマニュアルを参考にカプラーに入っているハーネス色と機能を確認します。
（①集合スイッチ本体のハーネス色は 4 ページ [9.] 参照）
- ハンドルに固定する位置にあわせて、①集合スイッチ本体のハーネスの長さを調整します。
（注意. ハンドルの取り回しに合わせてゆとりを持った長さに切断してください。）
- ①集合スイッチ本体のハーネスに、付属の④ギボシ端子オス用スリーブを通し、
②ギボシ端子オスを圧着します。
（圧着方法は ページ[補足 ギボシ端子の圧着方法] 参照）
- 導通テスターにてギボシの圧着が確実にできているか確認します。
- 純正の集合スイッチについているカプラー（メインハーネス側）から必要なハーネスを抜く、または切断します。
（必ず、どのハーネス色がどこに接続されていたかメモを取ってください）
- 6.で抜いたハーネスに、付属の⑤ギボシ端子メス用スリーブを通し、③ギボシ端子メスを圧着します。
- ①集合スイッチ本体付属のネジを2ヶ所はずします。
（ハンドル径φ22.2用です。φ25.4には使用できません。）

ハンドルに①集合スイッチ本体を挟み込み、
ネジを元の状態に締めこみます。

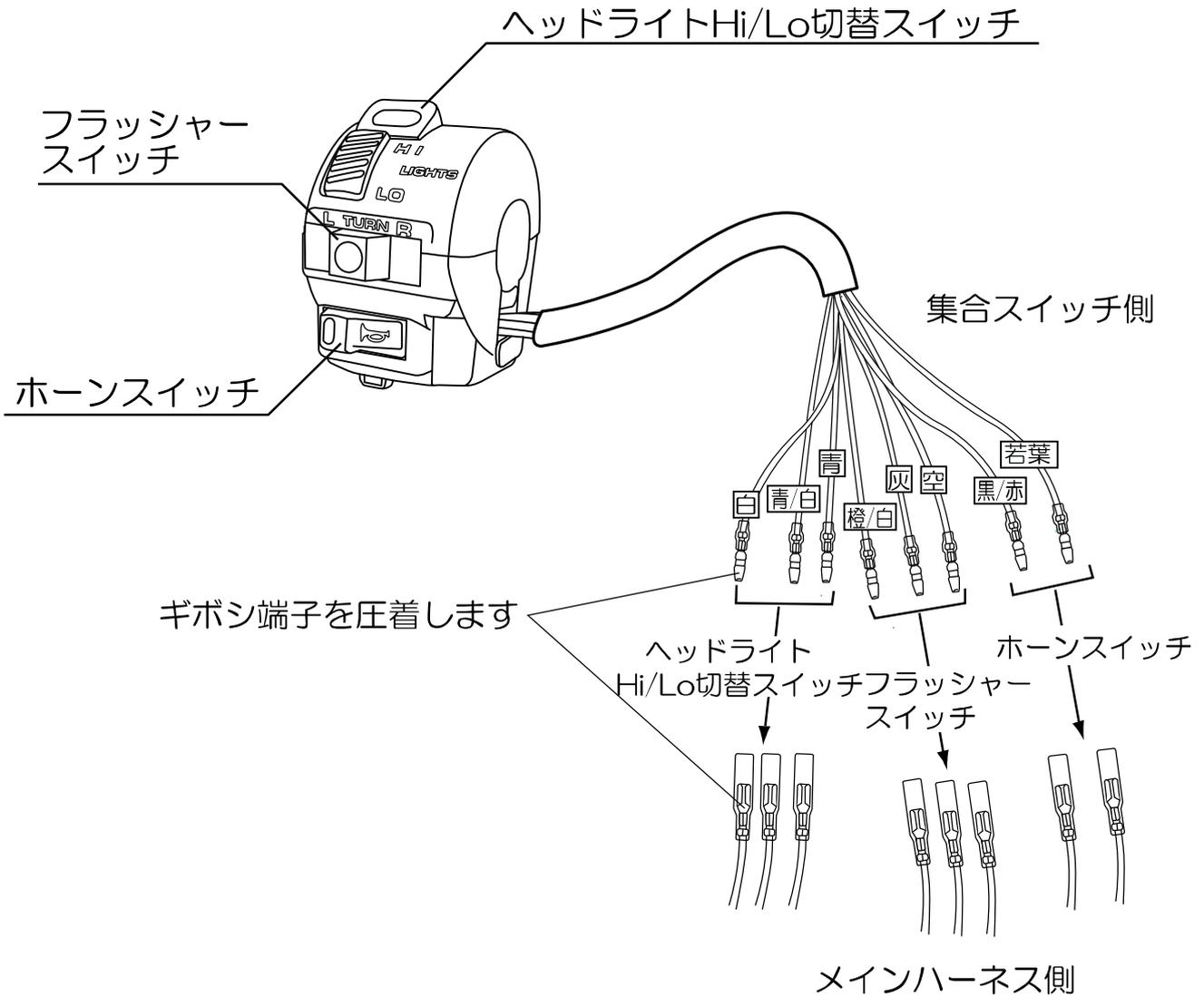


●ハンドル加工について

- ①集合スイッチ本体には回り止めの突起が付いています。取り付けの角度にあわせて、ハンドルに回り止めの穴あけ加工を施してください。（穴径5mm）
回り止めが不要の場合には、①集合スイッチ本体内側の回り止め突起部をニッパー等で切断してください。



9. 車両側のギボシに各ハーネスを差し込みます。
 (機能に合わせて各ギボシに配線を差し込んでください。)



ヘッドライトHi/Lo切替スイッチ

	白	青/白	青
Lo	⊖	⊖	
Hi		⊖	⊖

フラッシャースイッチ

	橙/白	灰	空
L	⊖	⊖	
●			
R		⊖	⊖

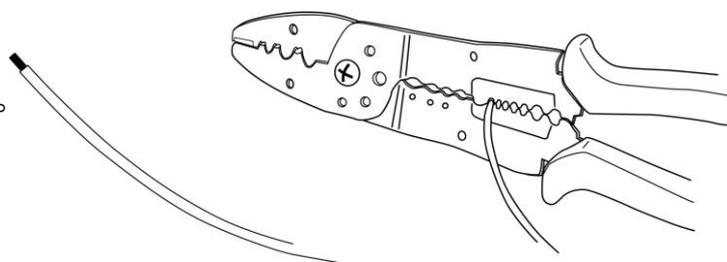
ホーンスイッチ

	黒/赤	若葉
OFF		
ON	⊖	⊖

10. 動作を確認したら接続完了です。

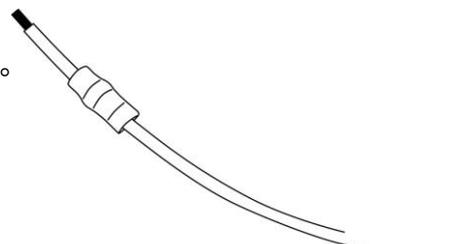
補足 ギボシ端子の圧着方法

1. ハーネスの被服を3mmほど剥きます。



2. ④ギボシ端子オス用スリーブまたは

⑤ギボシ端子メス用スリーブをハーネスに差し込みます。

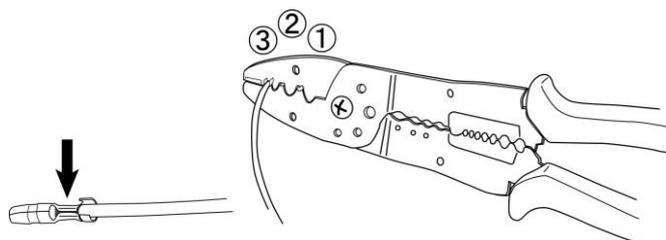


3. ②ギボシ端子オスまたは③ギボシ端子メスを差込み、

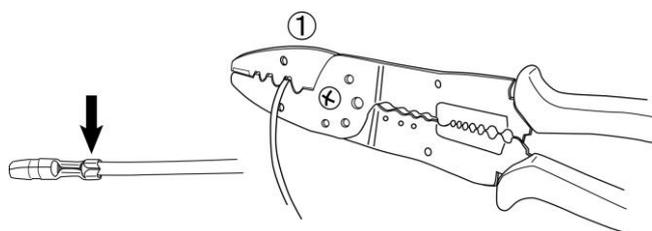
被服を剥いたところから電工ペンチで圧着します。



(右図の順番で大きい圧着サイズから3回に分けて圧着するときれいにカシメられます。)

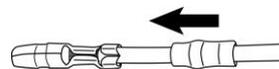


4. 3.の後、被服部分の圧着をします。



5. ④ギボシ端子オス用スリーブまたは

⑤ギボシ端子メス用スリーブを端子部分に被せます。



注意 上記の圧着方法は当社製 電工ペンチ(43438)を使用した場合の圧着工程です。

他の工具を使用した場合には作業工程が異なる場合があります。

東証JASDAQ上場

デイトナ

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで